

K-ふれあいネット

発行：令和4（2022）年2月21日

上都賀教育事務所ふれあい学習課：鹿沼市今宮町 1664-1 TEL0289-62-7167



ふれあい学習ネットワーク オンライン開催 1月28日(金)

基調講演「SDGs でつなぐ学校と地域～SDGs は教えない授業～」
新渡戸文化中学・高等学校 統括校長補佐 山藤 旅間 氏
教務部長 高橋 正明 氏



皆様は、SDGs という言葉を聞いたことがありますか？
SDGs は、世界の国も地域も企業も個人も、あらゆる人々が協力して、世界の明るい未来のためにがんばろうと、国連が決めた 2030 年までの 17 の目標です。地球には今、さまざまな問題が山積みで、複雑にからみ合っています。このままでは、地球はもたない…そんな思いから、世界中の人々が協力して問題を解決していこうというのが、SDGs です。
今年のふれあい学習ネットワークは、この SDGs をツールにして、地域学校協働活動を推進していく方策について考える内容としました。残念ながら、新型コロナウイルス感染症の警戒レベルが再度引き上げられたことで、集合型による研修はかないませんでした。講師の山藤氏と高橋氏からは、ご講話の中に各自ができるワークショップ等を取り入れながら、分かりやすくご説明いただくことができました。



SDGsでつなぐ学校と地域
～ SDGsは教えない授業 ～

Q なぜ、学校と地域をつなぐのか？
たくさんのカッコいい大人と出会うため

終了後のアンケートでは、
「SDGs で学校と地域をつなぐのは、今のカッコいい大人と未来のカッコいい大人になれる子供達をつなぐプロジェクトのことかなと思いました。そして、ステキな未来づくりは引き継がれていくのかもしれない。」
「教育目標やめざす子供像を作成する際、本日の講話に出てきた『自らをコントロールする』『他者とながら』『新しい価値を創り出す』『自立と自律』の言葉を参考にすると良いのではないかと思います。」
などの感想が寄せられていました。



上都賀地区人権教育指導者一般研修 12月1日(水)～12月15日(水) 人権ふれあいフェスタ オンライン開催(限定動画配信)

今年度の人権ふれあいフェスタは、内容によって3部構成として研修を実施しました。
第1部は、栃木県人権施策推進審議会会長の廣瀬隆人氏に、「アイヌ民族とは」と題して、アイヌ文化とアイヌ民族の概略についての講演をしていただきました。第2部では、様々なメディアでアイヌ語・文化発信者として活躍の関根 摩耶氏を講師に迎え、「noto ～家族の教え～」と題してインタビューフォーラムを行いました。第3部はアイヌ文化活動アドバイザー 星野 工氏・居壁 太氏にアイヌの民族楽器を演奏していただきました。
参加者にとって、これからの多様な共生社会の在り方について、一人ひとりが互いを認め合う（多様性と調和）について考えていただく貴重な時間となりました。また、人権週間の学びに合わせて、中学生も多数参加してくれました。
*「noto」とは関根摩耶さんのアイヌ語の名前です。アイヌ語で凧という意味で、「摩耶の人生が平穏で穏やかでありますように。」という思いを込めて萱野茂さんにつけていただいた名前だということです。

アイヌ イランカラネテ (いんらんかは) ～アイヌの歴史・暮らし・文化を知ろう～

アイヌ語・文化発信者
関根 摩耶 氏

一般の参加者

アイヌの方たちの物事の捉え方、向き合い方が素晴らしいと思いました。

中学生

関根さんの素晴らしい人間性からアイヌ文化を身近に感じることができました。また、アイヌでは当たり前な家族や地域のつながりが、人権教育としても大切な共通の部分だと感じました。

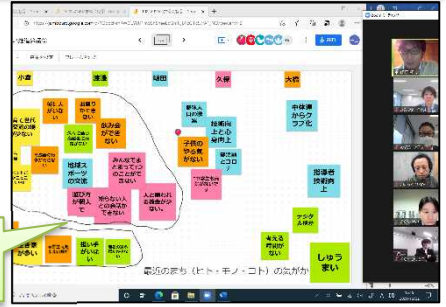
アイヌ文化活動アドバイザー
星野 工氏・居壁 太氏

上都賀地区ふれあい学習推進会議 オンライン&集合型開催

テーマ「NPO とつながる～中間支援施設の機能を生かした地域学校協働活動～」

上都賀地区には、「鹿沼市民活動広場ふらっと」「日光市民活動支援センター」2つの中間支援施設があります。多くの市民ボランティア団体や NPO 法人が登録しており、市民活動やボランティアに関する情報の収集・提供・相談を行っています。

地域学校協働活動の推進にあたり、中間支援施設と学校やその他の多様な主体との連携・協働が進めば、より専門性の高い教育活動へと発展できる可能性があると考え、今年度のテーマを設定しました。上記の2施設の代表、NPO 法人関係者、市行政職員、学校の地域連携教員の皆様に委員をお願いし、それぞれの見地から貴重なご意見をいただきました。



第1回はオンライン開催となりました。Jamboard を使用し協議しました。

＜令和3年度上都賀地区ふれあい学習推進委員＞



- | | | | |
|-------------------|-------------------------|-----------------------|-------------------------|
| 内海信二氏
(今市中学校) | 福田貴子氏
(日光市生涯学習課) | 広瀬浩氏
(NPO 法人はばたき) | 旭山友里氏
(日光市民活動支援センター) |
| 久保忠士氏
(鹿沼西中学校) | 渡邊博和氏
(鹿沼市民活動広場ふらっと) | 嶋田和典氏
(NPO 法人鹿沼39) | 小倉佑美氏
(鹿沼市生涯学習課) |

「大人が元気！」が、子供たちに夢を与えることにつながると思います。
 ・登録団体の情報をもっと提供します。
 ・「困っていること」をもっと伝えてみます。
 ・自分と違うところの方々が何をしているのか知る努力が必要ですね。

～ 話し合いから見えてきたこと ～

- ①積極的な情報発信の必要性
- ②顔の見える関係づくり
- ③既存の事業を大切に！

第2回は集合し既存の事業をブラッシュアップしました。



頑張る学校・地域！応援プロジェクト

県教育委員会は、地域と連携・協働し、子供の育成や地域づくりに頑張る学校を応援しています。このプロジェクトはその応援事業の一つです。今年度は、栗野中学校、今市小学校にモデル校をお願いしました。両校は、元々あった地域の「人」「もの」「こと」のつながりを活かし、関係機関との連携を図って活動してくださいました。

この事業のマイスターでもある廣瀬隆人氏は、講話の中でよく「先進事例よりも、先人事例に学べ」とおっしゃいます。両校のモデル事業を拝見すると、学校と地域が連携・協働を進めるに当たっては、その地域に既存の「人々のつながり」「地域の行事」「学校を取り巻く環境」等を見つめ直し、それらを「緩やかなネットワーク」にすることを意識しながらブラッシュアップしていくことが重要なのだと改めて学ぶことができました。

ご協力いただいた両モデル校の校長先生をはじめ、教職員の方々、支援に積極的にご尽力いただいた両市教育委員会の方々、関係者すべてのみなさんに深く感謝いたします。



栗野地区「AWANO 夢咲アートフェスティバル」



栗野中学校「オープンスクール」



今市小学校・地域連携事業「オータムスクール」



今市小学校「地域連携保護者研修会」

家庭教育支援プログラム指導者フォローアップ研修

2月25日(金)に予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大状況を鑑み、中止といたしました。参加を希望した皆様には申し訳ございませんでした。

今回のテーマは「新型コロナウイルス感染症に関する偏見や差別について考えよう」でした。不安な気持ちで過ごしているときこそ、自分の言葉や行動が差別や偏見につながっていないか、「誰かのこと」ではなく「自分事」として考えることが大切です。自分を、家族を、みんなを新型コロナウイルス感染症から守るために、正しい知識と情報をもとに行動しましょう。



＜訂正とお詫び＞

11月2日発行の第2号「7/8 地区 PTA 指導者研修」報告の記載に誤りがございました。
誤「長女」→正「次女」 訂正してお詫び申し上げます。

上都賀地区の社会教育・ふれあい学習に関する情報は・・・

上都賀 ふれあい

検索

